

2008年(平成20年)8月1日(金曜日)

調湿木炭に防音効果

建設業の出雲土建(出雲市知井宮町、石飛裕司社長)は、子会社で製造販売する天井用調湿木炭に、鉄筋コンクリートマンションの上階から下階に伝わる音を低減する効果があることを、島根大との共同研究で実証し、三十日に特許を出願した。防音対策の費用を抑えることができるといい、同社は主に大都市部で需要を開拓する考え。調湿木炭は廃木材を炭化処理した製品で、同社と島根大が共同開発。子

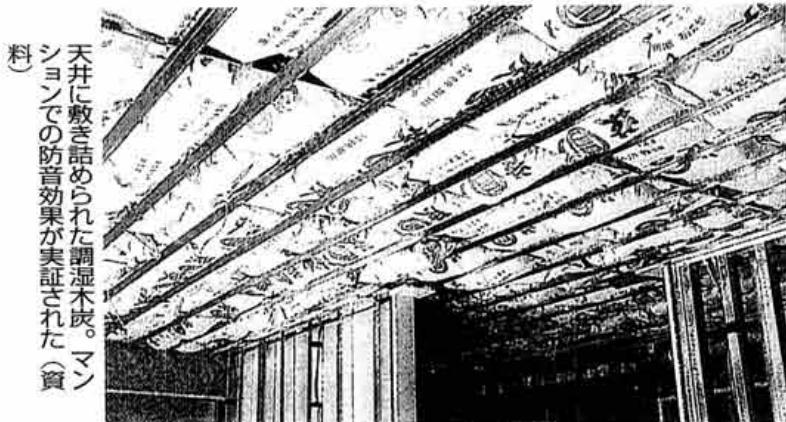
会社の出雲カーボン(同市下古志町、同社長)が同「炭八」の商品名で二〇〇二年に発売した。マンションでの防音効果の研究は、上階の部屋で子どもが跳びはねたときなどに下階に伝わる「重量床衝撃音」を対象

出雲土建と島大研究

マンション向け 特許を出願

ンでは五段、音が低減した。この効果はコンクリート約三七分に相当し、人間には音が約三割小さくなったように感じるという。上下階の天井と床下に敷設すると、防音効果は高まった。天井用の炭八の価格は一袋(二・二キ)が三千五百円。

石飛社長は、コンクリートを厚くする一般的な防音対策に比べて費用がかからず、既設のマンションにも敷設できる点を利点に挙げ、「実証した防音効果も強みに、都会地の新築高層マンションなどの需要を掘り起こす」と話した。



天井に敷き詰められた調湿木炭。マンションでの防音効果が実証された(資料)